

産業クラスター研究

— 海外の研究動向と今後の研究可能性 —

野口 麗奈

要 旨

本稿の目的は、体系的にビジネス・経営学分野の産業クラスター文献のレビューを実施し、海外の研究動向と今後の研究可能性を理解することである。本稿では、システマティックレビュー手法で、過去 20 年の文献データの動向をマクロな視点で俯瞰した。さらに、過去 5 年間の主要 20 文献を、質的にコード化、統合して分析した。これらの結果をもとに、今後の産業クラスター研究可能性について、外的環境との関係性、時間軸（成熟度）、研究の対象の観点から分析結果をもとに考察を試みた。本稿から確認できた、今後の産業クラスターの研究可能性は、国家や産業と産業クラスターの習熟度を加味した上での比較、政府、地方自治体といった行政や協会など、クラスターのプレイヤーレベルで未開拓な対象と既存研究との関連性、クラスター内企業の、マーケティングや産業クラスターからの撤退といった活動や現象の、既存文献への統合であった。

1. はじめに

産業クラスターの定義について、Porter が提示した 1998 年から約 20 年が過ぎようとしている。産業クラスターとは「特定分野において、相互関連のある企業・機関が地理的に集中している状態である。クラスターは、関連する複数の産業や競争上大きな意味を持つ他の団体をも包摂するもの」である (Porter, 1999)。産業クラスターは、それまで研究されてきた Agglomeration (産業集積) とは異なるコンテキスト、つまりグローバルエコノミーと国家の優位性の背景で語られるべきであるとし、それまで、経済学的な視点で議論が重ねられてきた集積に経営学の戦略の視点である競争優位性と共に提示されている (Porter, 1998b)。

これまで、日本、海外で多くの産業クラスター研究がされて久しい。しかし、経営学やビジネス分野において、日本の産業クラスターが、海外の研究成果の場に登場する機会は少ない。研究では、ビジネスと経営分野に属する著名な国際学会誌に掲載された文献を辿ったが、日本に関連する記事は 2 件にとどまった。また、産業クラスター研究については「理論的な

見地からすると、産業クラスターは未開の研究テーマである。とくに経営学の観点からすると、Porter（1998）以降とくに研究の深化があったとはいえず、概念的・理論的な整理が不足したままに、断片的で事例紹介的な研究蓄積があるにすぎない」（藤田, 2012）といった点が指摘されている。その上、藤田（2012）が試論的に産業クラスター研究についてまとめて以降、産業クラスターに特化した文献レビューが見当たらないのが現状である。

そこで、本稿では、改めて、Porter による 1998 年の産業クラスター論以降、近年の海外における経営学分野の研究動向と今後の研究可能性を、文献レビューを通して明確にすることを研究の目的に設定する。本研究の問いに答えるために、①主要国際誌掲載論文の 1990 年以降の産業クラスター関連研究の掲載内訳②抽出された論文内容の傾向③研究動向結果を基にして導かれる、今後の産業クラスター研究の可能性の 3 点を視点に設定し、体系的な産業クラスター研究の文献レビューを実施する。本稿の貢献は、1998 年から 2019 年 5 月現在までの海外研究動向の概観を示した上で、直近 5 年間の産業クラスター研究動向の説明を試み、藤田（2011）以降の海外研究動向の更新する点である。

本稿では、研究のキー概念である産業クラスターとそのフレームワークについて触れた後、文献レビュー手法と分析手順を示す。手順に基づき導かれた結果と分析を提示した上で、結果全体の考察を試み、結論を記す。

2. キー概念「産業クラスター」と「ダイヤモンド」

産業クラスター

本稿では、産業クラスター概念と関連するダイヤモンドフレームワーク（ダイヤモンド）を今一度提示し、産業クラスターのコンテキスト（背景や分脈）を明確にすることを試みたい。なぜなら、Porter 自身が、産業クラスターを定義した際に、「グローバル経済の文脈において」と、背景設定を明示している（Porter, 1998）ためである。

まず、産業クラスターとは「特定の分野において、相互関連のある企業・機関が地理的に集中している状態である。クラスターは、関連する複数の産業や競争上大きな意味を持つ他の団体をも包摂するもの」である（Porter, 1999）。Porter が最初に産業クラスターとダイヤモンドを提示したのは、“The competitive advantage of Nations”（Porter, 1998a）であった。Porter の持つ基本的な前提は「国レベルでの『競争力』を説明しようとする」と、誤った質問に答えを出すことになる。そうではなく、理解しなければならないのは、生産性および生産性向上の決定要因である。答を見つけるには、経済全体にだけ目を向けるのではなく、個々の産業と産業内セグメントに注目しなければならない」としている（土岐 & Porter, 1992b）。つまり、Porter は、生産性と生産性向上は国の競争力に密接な関係があることを前提とし、生産性と生産性向上の決定要因を探ることで、国の競争力を説明しようとしたの

である。さらに、決定要因を確定させるためには、国に存在する個別の産業と産業内のセグメントに焦点を当てる必要性を説いた。Porter が提示したダイヤモンドフレームは、前述の前提を踏まえ、生産性と生産性向上のメカニズムを解いたフレームワークと考えることができる。そして、そのフレームワークの対象は、国内の個別産業と産業内のセグメントである。

それでは、産業クラスターはどうであろうか。Porter の前提は、産業クラスター自体は国内に存在する産業集積であることは明らかである。しかし、国内に点在するとされる産業集積が全て産業クラスターではない。「多くの産業、またとくに産業内の特殊なセグメントでは、本当の国際的競争優位をもつ企業は、ごく限られた数カ国にしか存在しない。国の影響力は、企業そのものではなく、産業とセグメントに及ぶようである」とし、「国の最も成功している産業は、(中略) 別々の企業がバラバラにいるというよりも企業のグループを形成している。一流の国際企業は、同じ国に集まっているだけでなく、国内の同じ都市または同じ地域に集まることが多い」と説明している(土岐 & Porter, 1992a)。Porter の理論は、産業集積のメカニズムではなく、国として競争優位性を有する産業集積を国家間で比較し、国特有の競争優位を産業レベルで明確にすることに主眼が置かれている。だからこそ、Porter の定義は、グローバル経済下を前提としているのだ。そして、国の産業クラスターである特定地域の集積には、Porter (1998) が記したような特徴がしばしば散見され、次項のダイヤモンドフレームワークでその競争優位性の源泉となる生産性と生産性向上のメカニズムが示されているのである。

以上から、産業クラスターの生産性を議論するための前提が生まれる。特定の国の産業の生産性を調査する際は、特定の地域に産業が集積していること、そして、その特定地域の集積の度合いを明確にすることが必要になる。さらに、その産業集積が、国の競争優位性を有しているといえる。その際、Porter が提示している生産性上昇に関連する変数は、国際貿易(輸出と輸入のバランス)や自国企業の海外直接投資による海外進出などであり、イメージを持つとしたら、国レベルの産業ポートフォリオ管理に近いことが分かる。

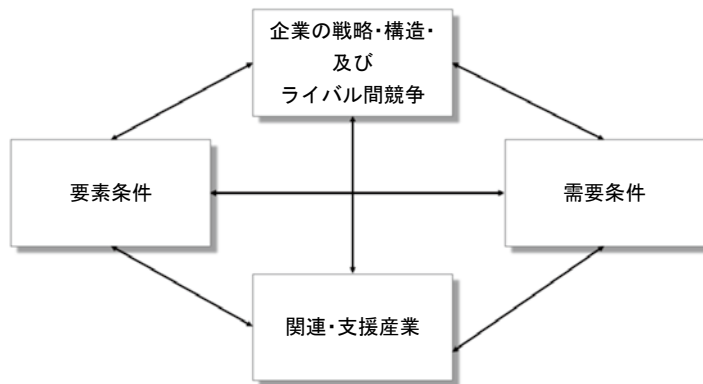
Porter の「ダイヤモンド」

Porter は、ある国が特定産業において、国際的に成功する理由を、その国の企業が競争する環境を形成し、競争優位の創造を促進または阻害する 4 つの特性で説明している。(土岐 & Porter, 1992) 具体的な 4 特性とは、要素要件(生産要素)、需要要件(国内の需要条件)、関連・支援産業(国際的な競争力を有する供給産業または関連産業が同一国内に存在すること)、企業の戦略、構造、およびライバル間競争(企業が創造され、組織され、経営される状況と国内のライバル間競争のパターン)である。図 1 に、4 つの特性の関係性を示した、Porter の「ダイヤモンド」(国の優位の決定要因)を提示する。

Porter の「ダイヤモンド」は、相互強化システムであり、1つの決定要因の効果は、他の要因の状態に付随して動くという、動態的なモデルである。唯一、4つの特性の1つか2つだけの決定要因に基づく競争優位は、天然資源に依存する産業もしくは高度な技術や熟練をほとんど持たない産業でのみ可能である（土岐 & Porter, 1992）。

さらに、「ダイヤモンド」には、チャンスと政府に2つを追加変数に加味する必要がある。チャンスとは、企業や国家のコントロール外の動きである。このような動きに企業が押されると、一国の企業が他国の企業に地位を奪われるような機会を提供する。Porter の主張をまとめると、政府はどのレベルでも、国の優位を向上させたり、下落させたりできることを前提としている。さらに、国の政策や制約、緩和、投資といった行動は全て、国の需要条件を変化させる効力を持っているがゆえ、「ダイヤモンド」にとって必要不可欠な変数であることが分かる。

図表 1：国の優位の決定要因（Porter のダイヤモンド）



(Source: 土岐 & Porter, 1992, p106 より筆者作成)

3. 研究方法

システマティック・レビューに基づく選択基準と検索手順の設定

本研究の目的である、産業クラスター研究を体系的なレビューを前提に研究方法を検討し、システマティック・レビュー手法を採用することにした。システマティック・レビューの特徴は、明確性（Explicit）、網羅性（Exhaustive）、包括的性（Comprehensive）そして再現可能性（Reproducible）と説明できる（大木秀一, 2013）。したがって、体系化されたレビューを試みるにあたり、システマティック・レビューは適切な手法といえる。そこで、本稿では、Tranfield, Denyer, & Smart（2003）を参考に、以下の手順でレビューを実施した。

まず、具体的な文献選定基準は、本稿の研究の問いに基づき検討した。本稿では、1998

年に Porter が発表した産業クラスター論以降の研究動向が対象範囲なので、対象文献期間は 1998 年から現在とした。続いて、海外での研究動向をレビューにあたり、該当期間のビジネス・経営学に関連する国際的な学会誌に掲載された英文原著論文を対象に想定し、信頼のおける国際学会誌の選択基準として、InCites Report (2017) を利用した。具体的には、InCites Report (2017) の「Business」と「Management」分野で Q1 と定義づけられている学会誌のみを抽出し、合計 65 誌（重複なし）を同定した。本稿で活用するジャーナル検索データベースには Web of Science を採用した。既存研究では、Web of Science, Scopus, Google Scholar そして Sci Finder を比較研究した結果、Web of Science の最大の特徴は 1900 年以降の文献データとしてオンラインで所有している点と、文献検索の網羅性、引用レポート分析が充実している点である (Li, Burnham, Lemley, & Britton, 2010)。このことから、システマティック・レビューの文献網羅性を担保する上で、Web of Science は最適のツールと結論づけた。一方、Web of Science には、シソーラス検索機能が付帯していない。より網羅的な検索を実現するために、本稿では Ebsco に登録されている「Industrial Cluster」のシソーラス（図表 2）を Web of Science 上の文献検索に活用した。以上の選択基準を図表 3 に記す。

図表 2：シソーラス一覧

Keyword	シソーラス
Industrial Cluster	AGGLOMERATIONS, Industrial
	CLUSTER industries
	CLUSTERING (Business location)
	CLUSTERS, Industrial
	FIRM clusters
	INDUSTRIAL agglomerations
	INDUSTRY clusters

図表 3：選択基準

Type	使用する内容
タイトル検索	Industrial Cluster
トピック検索	Industrial Cluster
Language	English
Document Type	Article
出版年	1998・2019 年 5 月 6 日
分野	Business, Management
Journals	InCites Report “Business” or “Management” Q1 Journal
Core Collection	SSCI A&HCI
データベース	Web of Science

研究の再現性を担保するために、Web of Science での検索手順を以下に記す。まず、Web of Science の詳細画面ではトピックまたはタイトルによる検索が可能である。そのため、本稿では、前提として、Industrial Clusters とそのシソーラスを全て Or 条件で設定した。InCites Report から抽出した国際学術誌のリストは、ジャーナルタイトルを全て Or 条件節で設定した。レビュー文献の種類は、第一次文献の原著論文 (Article) のみに限定し、明

示的に言語は英語のみを条件にした。出版年は、リサーチ目的に即し、1998 年以降から現在（検索日：5 月 6 日）で確定した。

分析手順

抽出結果の分析手順は、研究の問いに基づいて設定した以下に挙げる 3 つの視点を基に実施する。すなはち、①主要国際誌掲載論文の 1990 年以降の産業クラスター関連研究の掲載内訳 ②抽出された論文内容の傾向 ③研究動向結果を基にして導かれる、今後の産業クラスター研究の可能性である。3 つの視点とその分析方法は以下の通りである。

最初に、主要国際誌掲載誌論文の 1998 年以降の産業クラスター関連研究の掲載内訳は、〈時系列〉と〈掲載誌別〉の 2 つのアプローチから分析を行う。時系列による分析は、選択した 65 ジャーナルをすべてまとめて、産業クラスターの研究動向を理解するために有益である。一方、各国際学会誌は、論文掲載スコープが明確である。従って、掲載誌別の分析は、Industrial Cluster がどのようなディメンション、あるいはレンズを用いて研究されているかといった潮流を把握するのに有用と判断した。

次に、直近 5 年（2014 年から現在（2019 年 5 月 6 日））を範囲として、抽出された文献内容をコード化し、質的な文献統合を実施し、その結果を記述する。各文献内容を確認し、その主要な結果を、筆者の主観を基に要約し、質的コードを作成した。次に、文献毎に作成された各コードを確認し、関連しあうコードをまとめ、それぞれにカテゴリを割り振った。割り振られたカテゴリを基にした分析の結果は本節で示し、全体の見解は考察に記す。

4. 結 果

概観

本研究の結果は、前掲の分析の視点に基づいて説明する。まず、全体の抽出結果を示した後、1 つ目の視点であった、主要国際誌掲載誌論文の 1998 年以降の産業クラスター関連研究の掲載内訳を〈時系列〉と〈掲載誌別〉の 2 つの軸で分析する。選択基準と抽出手順に従って、Web of Science か 74 文献が抽出された。

時系列と掲載誌別の動向

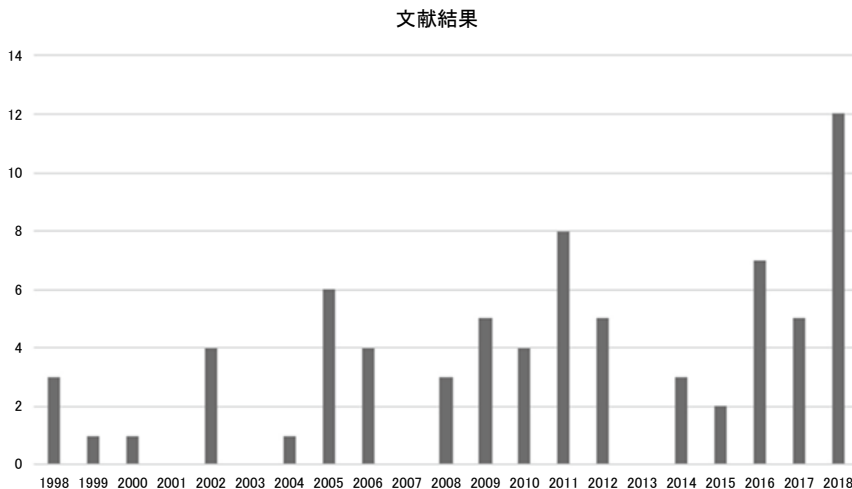
主要国際誌掲載誌論文の 1998 年以降の産業クラスター関連研究の掲載内訳は、〈時系列〉と〈掲載誌別〉の 2 つのアプローチから分析を行う。

時系列による抽出結果として、対象となった 74 文献を発表年別に図表 4 に記す。対象となった 76 論文のうち、55% に該当する 41 本が、2014 年以降に掲載が集中している。2018 年については、1998 年以降最多となる 12 論文が発表された結果となった。

では、載誌別の状況をどうであろうか。産業クラスターに関する論文は、65 誌のうち、27.6%に相当する 18 誌に集中している。さらに、18 誌中、5 誌に 53 文献が掲載されていた。つまり、74 本の論文の 71%に相当する 53 論文が、5 誌のみで構成されたことになる。

該当の 5 誌の掲載件数を、2014 年から 2018 年時系列で確認した。Research Policy と Journal of International Business は該当年内にそれぞれ該当案件の 30%、50%の論文が発表されていた。さらに、Industrial Marketing Management は、抽出された文献が全て 2014 年から 2018 年に集中していることが判明した。5 誌の特徴から、Journal of International Business と Industrial Marketing Business 誌に共通しているのは、両誌のホームページから投稿規定確認したところ、共通していたのは、規定に場所に対する記述があったことである。前者は、テーマに対する多国籍性が規定されている。また、後者については、世界各国の地域の研究スコープとする点が付記されている。産業クラスターの海外研究発表の場合は、よりグローバルな背景を包括しているといえる。

図表 4：発表年別の文献検索結果



文献の概観

文献の内容について、2014 年以降に発表された 29 文献を確認したのち、本稿では、20 文献をレビュー対象とした。該当の 20 件は、文献のトピック、研究単位分析単位別に整理をした上で、論文の設定、主な分析レベル、分析アプローチ、簡単なトピックでまとめた。(詳細は Appendix を参照)

該当 20 件研究のアプローチのうち、1 件が実証的なアプローチに依拠していた。主要な分析単位 9 件が産業クラスターレベル、全体の 5 件が企業レベルであった。また、14 件の文献は、単一国を取り扱っていた一方、複数国にまたがった研究は、3 件であった。

質的コード化

産業クラスター内を視点とした研究による成果と、産業クラスター自体の構造に関する特徴を明らかにするために、2014年以降に抽出された20件の文献を質的コード化・統合を行った。統合の結果、5つのカテゴリ〈起業家エコシステムとのすみわけ〉、〈産業クラスターの特徴〉、〈産業クラスター内のプレイヤー〉〈地域近接性〉〈企業活動と脅威〉を確定した。以下に、各コードについて記載する。

【起業家エコシステムとのすみ分け】

本コードでは、産業クラスターを分析単位とし、起業家エコシステムと産業クラスターの差別化の研究に焦点を絞った。デジタルの活用を視点に用い、産業クラスターと起業家が形成するエコシステム（起業家エコシステム）が異なる点が、研究から報告された（Autio, Nambisan, Thomas, & Wright, 2018）。本研究によって、産業クラスターのバウンダリー条件が明らかになったといえる。具体的には、既存の産業クラスターと起業家エコシステムの差別化要因は、起業家エコシステムでは、起業家がデジタル（物理的には遠隔な）な繋がりなどを活用し、独自のネットワークを地理的制約に関係なく構築する点をあげている。このような結果を鑑み、起業家エコシステムと産業クラスター開発の政策は明確に区別可能であるとの見解を示した。

本研究は、今後の研究対象や現象に特定時に有益な貢献であった。さらに、産業クラスターのバウンダリー条件を、時代背景を加味した上で提示した点で、今後の研究への示唆を促した。その一方で、デジタル活用の頻度や度合いなど、明確な産業クラスターと起業家エコシステムすみ分けの条件設定までには至っていないため、今後も研究が求められる領域であることが判明した。

【産業クラスターの特徴】

本コードでは、産業クラスターの特徴を、成長、産業別、地域別の研究視点で確認することができた。まず、成長は、産業クラスターを分析対象単位とし、クラスター自体のライフサイクル、すなはち、産業クラスター自体の習熟度が、産業と密接に関連している点を特定した（Lee, 2018; Wang, Niu, & Qian, 2018）。これらの研究では、言い換えると、産業クラスターの成長に関するコントロール変数を提示したと捉えることができ、今後の研究条件に貢献している。

産業別の特徴は、主に特定産業のクラスターの形成が競争に与える影響度合いの研究であった（Teller, Alexander, & Floh, 2016; Wang et al., 2018）。産業別の特徴の研究は、特定の産業が集積している地域では、産業の競争が高まる点に着目していた。特に、サービスクラスターにおいては、競合間の協力が店舗の売上に好影響を及ぼしていたことが判明した

(Teller et al., 2016)。産業自体の成長と産業クラスターの関係性を、雇用の観点から研究した結果によると、従業員を産業クラスター内から雇用すると、産業自体の成長が高まる点が発見された (Delgado, Porter, & Stern, 2014)。

以上の研究は、捉え直すと、Porter のダイヤモンドの理論的検証ともとれる。なぜなら、Porter は産業クラスターの特徴を競争と協力としており、その意味で、これらの研究は産業別の切り口で、クラスターの特徴理論的な検証を裏付けているからである。また、雇用と産業成長の関係性は、ダイヤモンドの要素要件が産業成長に寄与している点の示唆だからである。

産業クラスターの特定の地域に視点を絞った研究 (Silvestre & Neto, 2014; Suder, Liesch, Inomata, Mihailova, & Meng, 2015) は、それぞれ、Base of the Pyramid (BOP) と東アジア地域を事例としていた。BOP に存在する産業クラスターは、開発国の産業クラスターとは、インフラ面などに歴然とした差がある点をあげ、その動態が異なることを発見した (Silvestre & Neto, 2014)。他方、東アジア地域は、各国の産業間の連携を調査した結果、付加価値のある連携が高まっていることを指摘した (Suder et al., 2015)。

以上の地域研究は、改めて、産業クラスターの習熟度の議論を彷彿とさせる。なぜなら、国の開発度合いの観点が、産業クラスター研究にも必要であろうことを示唆しているからである。

このように、産業クラスターの特徴コードに属する研究は、産業別、地域別に実施し、既存研究の幅や理論検証できなアプローチで一定の貢献があるのは言うまでもない。そして、事例に産業や国の成熟度を加味することの意義をもたらしている。国、産業等の成熟度等を加味せずにおくと、事例間を統合する見解を見出し難い事態を引き起こし、結果的に汎用的な理論化を阻む可能性が高く、今後、産業クラスター研究の事例は、国、産業の背景と共に研究、理論化を進める上での示唆に富んでいるといえる。

【産業クラスター内のプレイヤー】

本コードから、産業クラスター研究の対象単位を、企業と個人の二つのレベルに分けることができた。企業レベルの現象として着目されたのは、多国籍企業の産業クラスターにおける参入決定の調査 (Kemeny & Osman, 2018; Stallkamp, Pinkham, Schotter, & Buchel, 2018; Suder et al., 2015) であった。

まず、多国籍企業が産業クラスターへの参入時の地域を決定する要因は、そのクラスターが有する生産能力だと同定された (Suder et al., 2015)。さらに、中国の多国籍企業を扱った研究では、海外子会社参入は、クラスターの中心地域と周辺地域のどちらに海外オフィスを設置するかを決断により異なる結果となり (Kemeny & Osman, 2018)、中心地地域に参入した海外子会社は、周辺地域に設置された子会社よりも、ビジネス的な拡大が期待できると

した (Kemeny & Osman, 2018; Stallkamp et al., 2018)。つまり、クラスター地域内であっても、さらに戦略的な立地選定が要されることを示唆しており、産業クラスター内の立地の具体的決定に焦点を絞った研究結果から、立地選定は同業他社からの情報に基づいていたことが判明した (Marco-Lajara, del Carmen Zaragoza-Saez, Claver-Cortes, Ubeda-Garcia, & Garcia-Lillo, 2017)。

産業クラスターが形成する要素メリットは、その国の開発度合いと関連があるため、産業クラスター内で企業が成長する要因は、参入企業が、クラスターが保有している要素要件を活用の度合いよるとの報告がある (Lee, 2018)。

個人レベルとは、具体的には産業クラスター内の個人に関する調査 (Buenstorf & Costa, 2018; Felzensztein, Gimmon, & Deans, 2018; Pinkse, Vernay, & D'Ippolito, 2018) である。クラスター内の個人は、起業家とそれ以外の関係者と、研究対象で大別可能であった。

起業家個人の研究は、起業家が新規参入したクラスター内で起業家として成功するには、いかにクラスター内に埋め込まれるかが大きい点が研究から明らかになった。一方、参入時の従業員の雇用は、その後の事業継続性に影響する (Buenstorf & Costa, 2018)。この結果は、地域と産業、クラスター地域内からの雇用が産業の成長を促すとの研究結果 (Delgado et al., 2014) との関連性を見出すことも可能である。さらに、従業員雇用は、産業クラスターにおけるダイヤモンドフレームワーク (Porter, 1990) の要素要件と需要との関連性を、改めて示唆している。

クラスター内の従業員の行動は、クラスターのライフサイクル (Lee, 2018; Pinkse et al., 2018) に分類との関係性が指摘されている。たとえば、成熟したクラスターの関係者は、より個人行動が活発になるのと同時に、クラスター内のコスト低減のために協力し合う傾向があることが判明した (Felzensztein et al., 2018)。ここでも、産業クラスターにおいて、クラスターと産業が有する成熟度は、企業や個人に対しての影響を指摘している点を指摘している。

以上の産業クラスター内のプレイヤー研究は、クラスターの成熟度を加味しながら、クラスター内の企業や個人に関して研究貢献があった。しかし、クラスター内に存在する地方政府、協会、商工会議所などが分析対象ではなく、クラスター全体のプレイヤーを網羅するものではない。さらに、それらの関係性と取り上げた現象を紐付ける試みがなされていないことから、今後の研究可能性を示唆している。

【近接性】

本コードから、産業クラスターにおける「近接性」には、分析単位が2種類存在することが判明した。1つは、産業クラスター内の企業や関連会社間の距離の近さである。もう1つは、複数産業クラスター間における近接性である。前者は、連続した価値共創への効果は認

められない一方、相互価値共創には優位な効果をもたらすことが発見された (Hammervoll, Halse, & Engelseth, 2014)。また、サイエンス・テクノロジーパークを事例とした研究から、クラスター内の距離的近接性が、クラスター内にある企業や関係者間の長期的な関係性を構築に寄与していることが判明した (Rocio Vasquez-Urriago, Barge-Gil, & Modrego Rico, 2016)。後者は、特定地域に存在する複数の産業クラスター同士の距離を示す。複数のクラスターの産業の近接性と距離的な近接性が重なる場合、該当する産業が成長する (Delgado et al., 2014) とした。同様に複数のクラスターが共存する地域を取り上げ、クラスターのライフサイクルを加味した研究 (Lu, Ruan, & Reve, 2016) は、成熟期にあるクラスターは、近隣の産業クラスターの生産性に正に影響を与える一方、開発期のクラスターは、近隣の産業クラスターに対して、負の影響を与えるとの結果が示された。

以上の結果は、クラスターの有する競争と協調といった特徴自体が、クラスターの時間軸 (成熟度合い) によって動的に変化している点を示唆しているといえる。

【企業活動と脅威】

本コードは、産業クラスター内の企業活動に焦点を当てている。具体的には、クラスター内企業のイノベーションと企業活動に関する脅威の2種類が挙げられる。前提として、産業クラスター内の企業のイノベーションには、クラスター内の知識ネットワークの重要性が確認されている (Mudambi, Mudambi, Mukherjee, & Scalera, 2017)。そして、企業は、産業クラスター内のサプライヤーが促進要因となって起きる「活用 (exploitation)」のイノベーションが増加し、結果的に、「探索 (exploration)」的なイノベーションが阻害されているとの見解が示された (Ozer & Zhang, 2015)。さらに、クラスター内の同質化した組織体制が、イノベーションを創出していることが、研究結果から確認された (Rocio Vasquez-Urriago et al., 2016)。

産業クラスター内における企業活動の脅威について言及している文献 (Lamin & Ramos, 2016; Livanis & Lamin, 2016) は、テクノロジー産業のクラスター内に存在する業績不振の企業に対する脅威を指摘している。具体的には、開発途上国のテクノロジー産業内のリーダー企業は、自社が有する知識のスピルオーバーを危惧しており、その背景には、業績不振な企業ほど、産業クラスターに集積している点を挙げている (Livanis & Lamin, 2016)。さらに、開発途上国の産業クラスター内に位置する多国籍企業の海外子会社は、主要な製品開発プロジェクトは産業クラスター内で実施していない点 (Livanis & Lamin, 2016) や、知的財産保護が希薄な国のクラスターで、企業が製品開発を行う場合、クラスター内の地元企業のフリーライダーが存在する点 (Lamin & Ramos, 2016) を示した。

これら、クラスター内の企業が直面する脅威と反して、企業の製品開発、マーケティング、セールス部門が産業クラスター内にあることが、そうでない企業に対して優位にあるとの見

解を示す研究（Alcacer & Delgado, 2016）も存在する。また、産業クラスター内における製品開発への投資は、クラスター全体の利益を高めている（Lee, 2018）といった研究結果も存在する。つまり、今後、産業クラスター内への企業の投資行動は、外的環境要因を鑑みながら利益を求める企業にとって、戦略的な決定要素を更に強める可能性があることを意味している。

以上の研究結果は、産業クラスター内に所在することで、企業は一種のトレードオフに直面していると推測することも可能だ。イノベーションの創出では、活用と探索のトレードオフを抱え、マーケティングでは、クラスター内の所在是非自体と業績とのトレードオフの関係を有している。このようなトレードオフの状況を理解した上で、多国籍企業の産業クラスターに参入する際の研究は多い。しかし、産業クラスターからの撤退を現象に設定した研究は存在していない。既存研究結果から、これら企業のトレードオフのレベルと撤退決定タイミングは、新たな研究テーマになるといえる。

5. 考 察

今後の産業クラスター研究可能性について、外的環境との関係性、時間軸（成熟度）、研究の対象の観点から分析結果をもとに記載する。まず、外的環境と産業クラスターについては、起業家エコシステムと産業クラスターの棲み分けが挙げられる。これらが明確になり、ダイヤモンドモデルとエコシステムのバウンダリーが明確になった結果、産業クラスターの4要素の重要性を強化示唆したといえる。

次に、産業クラスター研究は、特定の地域に依拠していることが多く、結果的に、研究事例の範疇が明確となる。そのため、研究結果の汎用性は、今後、研究デザインを検討する上で重要である。たとえば、特定の産業クラスターについて国、産業間の比較研究は、今後の可能性である。現状、産業クラスターの事例となった産業、地域は、それぞれ成熟度や国家的な背景が異なっている。現状の研究経過では、産業クラスター研究全体における対象の成熟度を加味して、国、地域、産業の視点から貢献がなされていない。今後の研究課題として、このような産業クラスターの背景とクラスターの成熟度を軸に、これまで研究されてきた競争・イノベーションの特徴などを見据えることが可能であろう。これらの研究貢献は、研究者が媒介となり、比較的新規のクラスターが、成熟したクラスターから学習する機会を与えることにもなり、社会的にも貢献にも寄与することとなる。

そして、本稿で取り上げた産業クラスター研究では、研究分析単位が、産業、産業クラスター別、クラスター内の企業、個人レベルであった。本稿の結果から、研究分析単位について3点の方向性が確認できた。まず、現在、クラスターにおける個人研究対象は、起業家（Buenstorf & Costa, 2018）と従業員（Pinkse et al., 2018）と、現状は限定的であることか

ら、クラスター内企業のリーダー、経営者、組合などの特定の役職者を個人レベルの分析対象可能性が存在している。次に、既存研究では、産業クラスター内の地方政府、協会、商工会議所等と企業との関係性のコンテキストで研究がデザインされておらず、産業クラスター内の現象（例：企業のクラスターへの参入決定プロセスの現象）と前述したプレイヤー間における関係性が加味されておらず、結果的に今後の貢献対象であることが明らかとなった。最後に、クラスター内の企業レベルの研究（Felzensztein et al., 2018; Stallkamp et al., 2018; Suder et al., 2015）で散見された現象は、多国籍企業のクラスター参入時のロケーションと、参入後の、知識ネットワークやイノベーション活動（Mudambi et al., 2017; Ozer & Zhang, 2015; Rocio Vasquez-Urriago et al., 2016; Stephan et al., 2017）であり、活動の一環として、ネットワークの視点が加味され、広がりを見せている領域である。しかし、これらの活動は、大きく捉えると、企業競合や企業戦略の一部でしかない。たとえば、〈企業活動と脅威〉で確認したように、今後、既存研究から予期される企業のクラスター撤退の現象への注視や、産業クラスターにおけるマーケティング研究は、新たな研究貢献領域といえる。さらに、これらの活動は、既存の企業活動文献と統合可能な点をみても、今後の取り組みが期待されるであろう。

6. おわりに

本稿の目的は経営学分野の産業クラスター研究の海外動向をシステマティックな文献レビューを通して明確にし、今後の研究可能性を示すことであった。本稿は、経営学に限定したレビュー範囲を設定したことで、今後の研究方向性や未開拓分野を示唆することができた。今後は、産業クラスターの研究系譜を加味し、経済学、経営学分野の産業クラスター文献内容の比較・統合を実施しが望まれる。

既存研究から導かれた主な可能性は、国家や産業と産業クラスターの習熟度を加味した上での比較、政府、地方自治体といった行政や協会など、クラスターのプレイヤーレベルで未開拓な対象と既存研究との関連性、クラスター内企業の、マーケティング活動や産業クラスターからの撤退決定といった現象を、クラスター内の企業、行政、協会といったプレイヤーとの関係性を加味した上で、既存文献に統合していくことであろう。

謝辞

この場を借りて、いつもご指導頂いている指導教授、お忙しい中、本稿の査読に時間を割いて頂いた先生にこの場を借りて、改めて深く感謝致します。自身のできる限りを尽くし、新しい研究に向けて、精進していきたいと存じます。

References

- Alcacer, J., & Delgado, M. (2016). Spatial organization of firms and location choices through the value chain. *Management Science*, 62(11), 3213-3234. doi:10.1287/mnsc.2015.2308
- Asmussen, C. G., Pedersen, T., & Dhanaraj, C. (2009). Host-country environment and subsidiary competence: Extending the diamond network model. *Journal of International Business Studies*, 40(1), 42-57. doi:10.1057/palgrave.jibs.8400420
- Audia, P. G., & Rider, C. I. (2010). Close, but not the same: Locally headquartered organizations and agglomeration economies in a declining industry. *Research Policy*, 39(3), 360-374. doi:10.1016/j.respol.2010.01.007
- Autio, E., Nambisan, S., Thomas, L. D. W., & Wright, M. (2018). Digital affordances, spatial affordances, and the genesis of entrepreneurial ecosystems. *Strategic Entrepreneurship Journal*, 12(1), 72-95. doi:10.1002/sej.1266
- Battaglia, M., Bianchi, L., Frey, M., & Iraldo, F. (2010). An innovative model to promote CSR among SMEs operating in industrial clusters: Evidence from an EU project. *Corporate Social Responsibility and Environmental Management*, 17(3), 133-141. doi:10.1002/csr.224
- Boiral, O., Heras-Saizarbitoria, I., & Testa, F. (2017). SA8000 as CSR-washing? the role of stakeholder pressures. *Corporate Social Responsibility and Environmental Management*, 24(1), 57-70. doi:10.1002/csr.1391
- Buenstorf, G., & Costa, C. (2018). Drivers of spin-off performance in industry clusters: Embodied knowledge or embedded firms? *Research Policy*, 47(3), 663-673. doi:10.1016/j.respol.2018.01.015
- Chen, L. (2009). Learning through informal local and global linkages: The case of taiwan's machine tool industry. *Research Policy*, 38(3), 527-535. doi:10.1016/j.respol.2008.10.008
- Chertow, M., & Miyata, Y. (2011). Assessing collective firm behavior: Comparing industrial symbiosis with possible alternatives for individual companies in oahu, HI. *Business Strategy and the Environment*, 20(4), 266-280. doi:10.1002/bse.694
- Chyi, Y., Lai, Y., & Liu, W. (2012). Knowledge spillovers and firm performance in the high-technology industrial cluster. *Research Policy*, 41(3), 556-564. doi:10.1016/j.respol.2011.12.010
- Delgado, M., Porter, M. E., & Stern, S. (2014). Clusters, convergence, and economic performance. *Research Policy*, 43(10), 1785-1799. doi:10.1016/j.respol.2014.05.007
- Felzensztein, C., Gimmon, E., & Deans, K. R. (2018). Coopetition in regional clusters: Keep calm and expect unexpected changes. *Industrial Marketing Management*, 69, 116-124. doi:10.1016/j.indmarman.2018.01.013
- Guo, B., & Guo, J. (2011). Patterns of technological learning within the knowledge systems of industrial clusters in emerging economies: Evidence from china. *Technovation*, 31(2-3), 87-104. doi:10.1016/j.technovation.2010.10.006
- Hammervoll, T., Halse, L. L., & Engelsest, P. (2014). The role of clusters in global maritime value networks. *International Journal of Physical Distribution & Logistics Management*, 44(1-2), 98-112. doi:10.1108/IJPDLM-11-2012-0335
- He, Z., Rayman-Bacchus, L., & Wu, Y. (2011). Self-organization of industrial clustering in a transition economy: A proposed framework and case study evidence from china. *Research Policy*, 40(9), 1280-1294. doi:10.1016/j.respol.2011.07.008
- Hsieh, P., Lee, C., & Ho, J. C. (2012). Strategy and process of value creation and appropriation in service clusters. *Technovation*, 32(7-8), 430-439. doi:10.1016/j.technovation.2011.03.003
- Kajikawa, Y., Takeda, Y., Sakata, I., & Matsushima, K. (2010). Multiscale analysis of interfirm networks in regional clusters. *Technovation*, 30(3), 168-180. doi:10.1016/j.technovation.2009.12.004

- Kemeny, T., & Osman, T. (2018). The wider impacts of high-technology employment: Evidence from US cities. *Research Policy*, 47(9), 1729-1740. doi:10.1016/j.respol.2018.06.005
- Kukalis, S. (2010). Agglomeration economies and firm performance: The case of industry clusters. *Journal of Management*, 36(2), 453-481. doi:10.1177/0149206308329964
- Lamin, A., & Ramos, M. A. (2016). R&D investment dynamics in agglomerations under weak appropriability regimes: Evidence from indian R&D labs. *Strategic Management Journal*, 37(3), 604-621. doi:10.1002/smj.2351
- Lee, C. (2009). Do firms in clusters invest in R&D more intensively? theory and evidence from multi-country data. *Research Policy*, 38(7), 1159-1171. doi:10.1016/j.respol.2009.04.004
- Lee, C. (2018). Geographical clustering and firm growth: Differential growth performance among clustered firms. *Research Policy*, 47(6), 1173-1184. doi:10.1016/j.respol.2018.04.002
- Li, J., Burnham, J. F., Lemley, T., & Britton, R. M. (2010). Citation analysis: Comparison of web of science®, scopus™, SciFinder®, and google scholar. *Journal of Electronic Resources in Medical Libraries*, 7(3), 196-217.
- Li, P., & Bathelt, H. (2018). Location strategy in cluster networks. *Journal of International Business Studies*, 49(8), 967-989. doi:10.1057/s41267-017-0088-6
- Libaers, D., & Meyer, M. (2011). Highly innovative small technology firms, industrial clusters and firm internationalization. *Research Policy*, 40(10), 1426-1437. doi:10.1016/j.respol.2011.06.005
- Lin, H., Huang, H., Lin, C., & Hsu, W. (2012). How to manage strategic alliances in OEM-based industrial clusters: Network embeddedness and formal governance mechanisms. *Industrial Marketing Management*, 41(3), 449-459. doi:10.1016/j.indmarman.2011.04.003
- Lin, X., Weber, K., & Bauer, T. (2012). Impact of clusters on exhibition destination attractiveness: Evidence from mainland china. *Tourism Management*, 33(6), 1429-1439. doi:10.1016/j.tourman.2012.01.005
- Livanis, G., & Lamin, A. (2016). Knowledge, proximity and R&D exodus. *Research Policy*, 45(1), 8-26. doi:10.1016/j.respol.2015.09.002
- Lu, R., Ruan, M., & Reve, T. (2016). Cluster and co-located cluster effects: An empirical study of six chinese city regions. *Research Policy*, 45(10), 1984-1995. doi:10.1016/j.respol.2016.07.003
- Marco-Lajara, B., del Carmen Zaragoza-Saez, P., Claver-Cortes, E., Ubeda-Garcia, M., & Garcia-Lillo, F. (2017). Tourist districts and internationalization of hotel firms. *Tourism Management*, 61, 451-464. doi:10.1016/j.tourman.2017.03.015
- Mauroner, O., & Zorn, J. (2017). Cluster branding-a case study on regional cluster initiatives, cluster management, and cluster brands. *International Journal of Innovation and Regional Development*, 7(4), 290-312.
- McCann, B. T., & Folta, T. B. (2009). Demand- and supply-side agglomerations: Distinguishing between fundamentally different manifestations of geographic concentration. *Journal of Management Studies*, 46(3), 362-392. doi:10.1111/j.1467-6486.2008.00815.x
- Mudambi, R., Mudambi, S. M., Mukherjee, D., & Scalera, V. G. (2017). Global connectivity and the evolution of industrial clusters: From tires to polymers in northeast ohio. *Industrial Marketing Management*, 61, 20-29. doi:10.1016/j.indmarman.2016.07.007
- Nishimura, J., & Okamuro, H. (2011). Subsidy and networking: The effects of direct and indirect support programs of the cluster policy. *Research Policy*, 40(5), 714-727. doi:10.1016/j.respol.2011.01.011
- Ozer, M., & Zhang, W. (2015). The effects of geographic and network ties on exploitative and exploratory product innovation. *Strategic Management Journal*, 36(7), 1105-1114. doi:10.1002/smj.2263

- Peteraf, M., & Shanley, M. (1997). Getting to know you: A theory of strategic group identity. *Strategic Management Journal*, 18, 165-186. doi:10.1002/(SICI)1097-0266(199707)18:1<165::AID-SMJ914>3.3.CO;2-R
- Pinkse, J., Vernay, A., & D'Ippolito, B. (2018). An organisational perspective on the cluster paradox: Exploring how members of a cluster manage the tension between continuity and renewal. *Research Policy*, 47(3), 674-685. doi:10.1016/j.respol.2018.02.002
- Porter, M. E. (1998). *Clusters and the new economics of competition* Harvard Business Review Boston.
- Porter, M. E. (1999). クラスターが生むグローバル時代の競争優位—イノベーション創出のメカニズムを学ぶ (特集 グローバル戦略の本質—マイケル・e. ポーター). *Diamond* ハーバード・ビジネス, 24(2), 28-45.
- Porter, M. E. (2000). Location, competition, and economic development: Local clusters in a global economy. *Economic Development Quarterly*, 14(1), 15-34.
- Porter, M. E. (1998). *The competitive advantage of nations: With a new introduction*
- Porter, M. E. (1998). *On competition*
- Porter, M. E. (2018). In 竹内 弘高, ダイヤモンド社 (Eds.), *競争戦略論* (新版 ed.). 東京: ダイヤモンド社.
- Porter, M. E. (2018). In 竹内 弘高, ダイヤモンド社 (Eds.), *競争戦略論* (新版 ed.). 東京: ダイヤモンド社.
- Presutti, M., Boari, C., & Majocchi, A. (2011). The importance of proximity for the start-ups' knowledge acquisition and exploitation. *Journal of Small Business Management*, 49(3), 361-389. doi:10.1111/j.1540-627X.2011.00331.x
- Rinallo, D., Bathelt, H., & Golfetto, F. (2017). Economic geography and industrial marketing views on trade shows: Collective marketing and knowledge circulation. *Industrial Marketing Management*, 61, 93-103. doi:10.1016/j.indmarman.2016.06.012
- Rocio Vazquez-Urriago, A., Barge-Gil, A., & Modrego Rico, A. (2016). Science and technology parks and cooperation for innovation: Empirical evidence from Spain. *Research Policy*, 45(1), 137-147. doi:10.1016/j.respol.2015.07.006
- Schierjott, I., Brennecke, J., & Rank, O. N. (2018). Entrepreneurial attitudes as drivers of managers' boundary-spanning knowledge ties in the context of high-tech clusters. *Journal of Small Business Management*, 56, 108-131. doi:10.1111/jsbm.12394
- Silvestre, B. S., & Neto, R. e. S. (2014). Capability accumulation, innovation, and technology diffusion: Lessons from a base of the pyramid cluster. *Technovation*, 34(5-6), 270-283. doi:10.1016/j.technovation.2013.09.007
- Stallkamp, M., Pinkham, B. C., Schotter, A. P. J., & Buchel, O. (2018). Core or periphery? the effects of country-of-origin agglomerations on the within-country expansion of MNEs. *Journal of International Business Studies*, 49(8), 942-966. doi:10.1057/s41267-016-0060-x
- Stephan, A., Schmidt, T. S., Bening, C. R., & Hoffmann, V. H. (2017). The sectoral configuration of technological innovation systems: Patterns of knowledge development and diffusion in the lithium-ion battery technology in Japan. *Research Policy*, 46(4), 709-723. doi:10.1016/j.respol.2017.01.009
- Suder, G., Liesch, P. W., Inomata, S., Mihailova, I., & Meng, B. (2015). The evolving geography of production hubs and regional value chains across East Asia: Trade in value-added. *Journal of World Business*, 50(3), 404-416. doi:10.1016/j.jwb.2014.05.003
- Swann, P., & Prevezer, M. (1996). A comparison of the dynamics of industrial clustering in computing and biotechnology. *Research Policy*, 25(7), 1139-1157. doi:10.1016/S0048-7333(96)00897-9
- Tan, D., & Meyer, K. E. (2011). Country-of-origin and industry FDI agglomeration of foreign investors in an emerging economy. *Journal of International Business Studies*, 42(4), 504-520. doi:10.1057/jibs.2011.4

- Teller, C., Alexander, A., & Floh, A. (2016). The impact of competition and cooperation on the performance of a retail agglomeration and its stores. *Industrial Marketing Management*, 52, 6-17. doi:10.1016/j.indmarman.2015.07.010
- Testa, F., Boiral, O., & Heras-Saizarbitoria, I. (2018). Improving CSR performance by hard and soft means: The role of organizational citizenship behaviours and the internalization of CSR standards. *Corporate Social Responsibility and Environmental Management*, 25(5), 853-865. doi:10.1002/csr.1502
- Testa, F., Gusmerottia, N. M., Corsini, F., Passetti, E., & Iraldo, F. (2016). Factors affecting environmental management by small and micro firms: The importance of entrepreneurs' attitudes and environmental investment. *Corporate Social Responsibility and Environmental Management*, 23(6), 373-385. doi:10.1002/csr.1382
- Tranfield, D., Denyer, D., & Smart, P. (2003). Towards a methodology for developing evidence-informed management knowledge by means of systematic review. *British Journal of Management*, 14(3), 207-222.
- Tunisini, A., Bocconcelli, R., & Pagano, A. (2011). Is local sourcing out of fashion in the globalization era? evidence from italian mechanical industry. *Industrial Marketing Management*, 40(6), 1012-1023. doi:10.1016/j.indmarman.2011.06.011
- Turkina, E., & Van Assche, A. (2018). Global connectedness and local innovation in industrial clusters. *Journal of International Business Studies*, 49(6), 706-728. doi:10.1057/s41267-018-0153-9
- Wang, D., Niu, Y., & Qian, J. (2018). Evolution and optimization of china's urban tourism spatial structure: A high speed rail perspective. *Tourism Management*, 64, 218-232. doi:10.1016/j.tourman.2017.08.010
- Xavier Molina-Morales, F., & Teresa Martinez-Fernandez, M. (2009). Too much love in the neighborhood can hurt: How an excess of intensity and trust in relationships may produce negative effects on firms. *Strategic Management Journal*, 30(9), 1013-1023. doi:10.1002/smj.766
- Zhang, A., & Huang, G. Q. (2012). Impacts of business environment changes on global manufacturing outsourcing in china. *Supply Chain Management-an International Journal*, 17(2), 138-151. doi:10.1108/13598541211212889
- 土岐坤他, & Porter, M. E. (1992). 国の競争優位: 上. 東京: ダイヤモンド社.
- 土岐坤他, & Porter, M. E. (1992). 国の競争優位: 下. 東京: ダイヤモンド社.
- 大木秀一. (2013). 看護研究・看護実践の質を高める文献レビューのきほん 医歯薬出版.
- 藤田誠. (2012). 産業クラスターの現状と研究課題 (大谷孝一教授 古稀祝賀・退職記念論文集). 早稲田商学, (431), 787-811.

Appendix: 産業クラスター文献対象レビュー一覧

#	Year	Journal	Title	Author	Sector	Countries	アプローチ	主要な 分析レベル	トピック
1	2014	International Journal of Physical Distribution & Logistics Management	The role of clusters in global maritime value networks	Hammervoll, Trond; Halse, Lise Lillebrygfeldt; Engelseth, Per	資本財サービス	ノルウェー	事例	産業クラスター	サービス提供と交換に関する 価値ネットワーク
2	2014	Research Policy	Clusters, convergence, and economic performance	Delgado, Mercedes; Porter, Michael E.; Stern, Scott			実証	産業クラスター	
3	2014	Technovation	Capability accumulation, innovation, and technology diffusion: Lessons from a Base of the Pyramid cluster	Silvestre, Bruno S.; Neto, Romeu e Silva	素材	ブラジル	事例	産業クラスター	ブラジルの花崗岩採掘現場 におけるクラスター動態の 質的調査 BOP 国のクラスターと開 発国クラスターとの要素要 件（インフラ等）の差
4	2015	Journal of World Business	The evolving geography of production hubs and regional value chains across East Asia: Trade in value-added	Suder, Gabriele; Liesch, Peter W.; Inomata, Satoshi; Mihalova, Irina; Meng, Bo	一般消費 機械 化学	インドネシア フィリピン マレーシア 韓国 日本 フィリピン シンガポール 台湾 タイ	実証	国	多国籍企業の地域参入選択 東アジア地域の連携
5	2015	Strategic Management Journal	The effects of geographic and network ties on exploitative and exploratory product innovation	Ozer, Muammer; Zhang, Wen		中国	実証	企業	産業クラスターにおける企 業のイノベーション行動の 傾向と関連企業がイノベ ーション行動に与える影響を 分析
6	2016	Industrial Marketing Management	The impact of competition and cooperation on the performance of a retail agglomeration and its stores	Teller, Christoph; Alexander, Andrew; Floh, Arne	一般消費財		実証	産業クラスター 企業	小売業の産業クラスターに おける競争と共創

#	Year	Journal	Title	Author	Sector	Countries	アプローチ	主要な 分析レベル	トピック
7	2016	Management Science	Spatial Organization of Firms and Location Choices Through the Value Chain	Alcacer, Juan; Delgado, Mercedes	ヘルスケア	米国		産業クラスター	企業の戦略的立地選択
8	2016	Research Policy	Science and Technology Parks and cooperation for innovation: Empirical evidence from Spain	Rocio Vasquez-Urriago, Angela; Barge-Gil, Andres; Modrego Rico, Aurelia	情報技術	スペイン	実証	産業クラスター	サイエンスパークにおける 製品開発 同質化した共創による開発 によるイノベーション
9	2016	Research Policy	Knowledge, Proximity and R&D Exodus	Livanis, Grigorios; Lamin, Anna	情報技術	インド	実証	企業	知識スピルオーバー効果の 負の効果 業績不振企業のクラスター 内滞留による影響
10	2016	Research Policy	Cluster and co-located cluster effects: An empirical study of six Chinese city regions	Lu, Ren; Ruan, Min; Reve, Torger		中国	実証	産業クラスター	異なるサイクルステージに ある産業クラスター間の生 産性の比較と影響
11	2016	Strategic Management Journal	R&D investment dynamics in agglomerations under weak appropriability regimes: Evidence from Indian R&D labs	Lamin, Anna; Ramos, Miguel A.		インド	実証	企業	R&D activity in Co-located foreign firms and domestic firms
12	2017	Industrial Marketing Management	Global connectivity and the evolution of industrial clusters: From tires to polymers in Northeast Ohio	Mudambi, Ram; Mudambi, Susan M.; Mukherjee, Debmalya; Scalera, Vittoria G.	素材	米国	実証	産業クラスター	イノベーション活動の国際 的なネットワーク
13	2017	Research Policy	The sectoral configuration of technological innovation systems: Patterns of knowledge development and diffusion in the lithium-ion battery technology in Japan	Stephan, Anneget; Schmidt, Tobias S.; Bening, Catharina R.; Hoffmann, Volker H.		日本	実証	セクター	セクター別の技術イノベー ションシステムと知識開発 とデイフュージョン研究

#	Year	Journal	Title	Author	Sector	Countries	アプローチ	主要な 分析レベル	トピック
14	2017	Tourism Management	Tourist districts and internationalization of hotel firms	Marco-Lajara, Bartolome; del Carmen Zaragoza- Saez, Patrocino; Claver-Cortes, Enrique; Ubeda-Garcia, Mercedes; Garcia-Lillo, Francisco	一般消費財・ サービス	スペイン	実証	国	国内と海外ホテルチェーン のスペインにおける立地戦 略と立地決定の情報源
15	2018	Journal of International Business Studies	Core or periphery? The effects of country-of-origin agglomerations on the within- country expansion of MNEs	Stalkamp, Maximilian; Pinkham, Brian C.; Schotter, Andreas P. J.; Buechel, Olha		中国	実証	地域	中国多国籍企業の本社と集 積にある子会社の関係性 海外参入地の選択 CO-Ethnic Community へ の参入がもたらす効果
16	2018	Journal of International Business Studies	Global connectedness and local innovation in industrial clusters	Turkina, Ekaterina; Van Assche, Ari	バイオテクノロジー 航空 情報技術	米国 カナダ ヨーロッパ	実証	企業	垂直・水平のネットワーク と企業のイノベーション活 動への効果
17	2018	Journal of International Business Studies	Location strategy in cluster networks	Li, Pengfei; Bathelt, Harald		カナダ 中国	実証	企業	多国籍企業の地理的選択と 知識戦略
18	2018	Research Policy	An organisational perspective on the cluster paradox: Exploring how members of a cluster manage the tension between continuity and renewal	Pinkse, Jonatan; Vernay, Anne-Lorene; D'Ippolito, Beatrice	エネルギー	フランス	実証	個人	クラスターの変遷に伴う、 従業員側の反応（テンショ ン）
19	2018	Research Policy	Geographical clustering and firm growth: Differential growth performance among clustered firms	Lee, Chang-Yang			実証	産業クラスター	産業クラスターの競争状況 に伴う企業成長
20	2018	Tourism Management	Evolution and optimization of China's urban tourism spatial structure: A high speed rail perspective	Wang, De-gen; Niu, Yu; Qian, Jia		中国	実証	産業クラスター	中国の高速鉄道網がもたら した産業クラスターの鉄道 敷設前後の競争比較